

第1回 塩田庁舎等利活用検討委員会

庁舎等利活用参考事例

収録事例

- 事例① 議場を囲碁美術館にリニューアル(山梨県北杜市)
- 事例② 議場をコミュニティ活動拠点へ(静岡県静岡市)
- 事例③ 議場を企業のコールセンターへ(新潟県南魚沼市)
- 事例④ 庁舎の一部を郵便局に有償貸与(香川県まんのう町)
- 事例⑤ 旧庁舎を複合施設として活用(千葉県野田市)
- 事例⑥ 旧庁舎を子ども未来センターへ(東京都立川市)
- 事例⑦ 寄贈された百貨店を新庁舎へ(宮城県石巻市)
- 事例⑧ 旧庁舎の1階へ福祉機能を統合移転(高知県宿毛市)
- 事例⑨ 旧庁舎の再整備計画(新潟県魚沼市) ※計画中

議場を囲碁美術館にリニューアル(山梨県北杜市)

社会文化・教育的利用、趣味、地域文化、不特定多数利用、市外住者利用可能



常設展示室では1500点ものコレクションを展示

- 北杜市は、平成16年7町村が合併して発足。
- 平成18年に旧長坂町庁舎議場を囲碁美術館としてリニューアル。
- 囲碁文化の普及と継承を目指す北杜市では、市民の主体的な芸術文化活動の充実を図るため囲碁美術館運営事業を実施。
- 囲碁美術館を活用し、囲碁まつり、市長杯・教育長杯囲碁大会、各種囲碁教室を開催するほか、囲碁サミットへの参加も行っている。

常設展示室・企画展示室・自由対局室・図書コーナーなど

- ハード面・ソフト面の整備は行っていない。
- 机の配置を変えた程度で改修は行っていない。



企画展示室では暮らしに関わった提示物が多い



武田信玄の囲碁石像



企画展示室 囲碁関連の浮世絵の展示



対局室の様子

館内には来館者が気軽に囲碁ができるよう自由対局室が用意されている。図書コーナーもあり、各レベル別の囲碁教本のほかに漫画「ヒカルの碁」も全巻取り揃えている。初心者や女性向けの囲碁教室も行われているので、囲碁に興味がある人や始めての人にはぴったりの場所である。

議場をコミュニティ活動拠点へ(静岡県静岡市)

スポーツ、文化、青少年育成活動等の地域振興、コミュニティの醸成



清水ふれあいホール

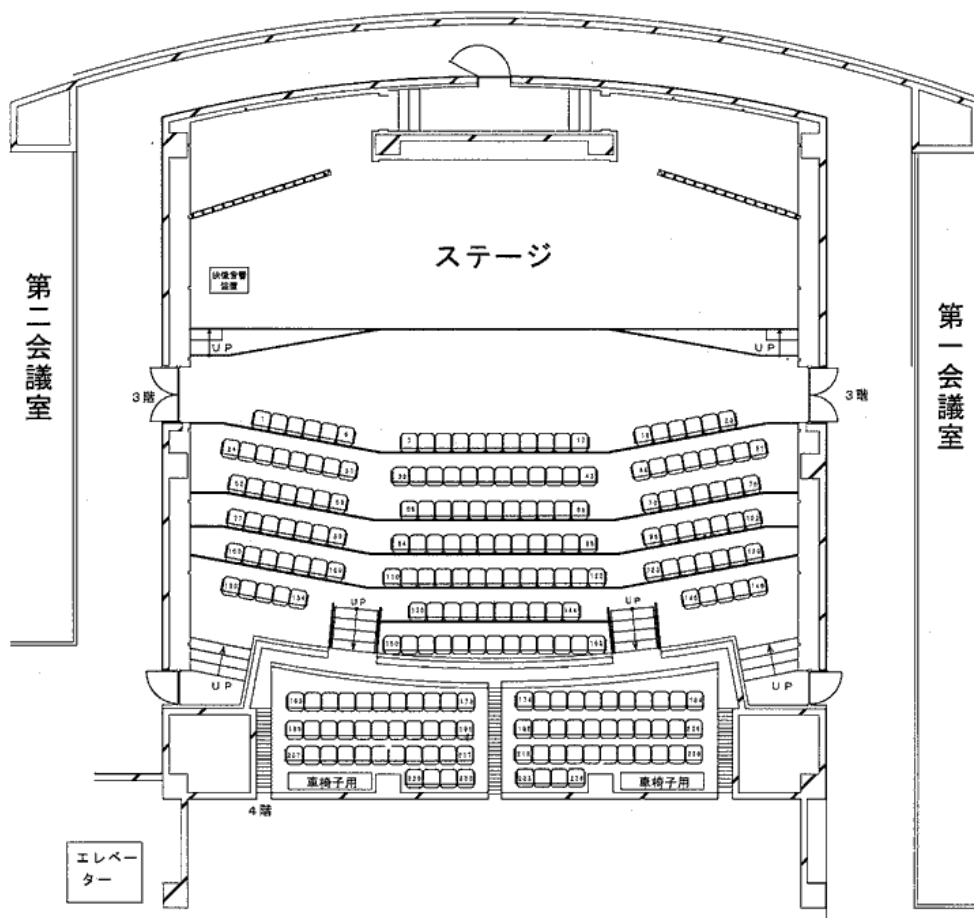
- 静岡市は、旧静岡市と旧清水市の合併により発足。
- 平成18年に旧清水庁舎の3階部分を「清水ふれあいホール」としてリニューアル。
- H14年度の新市建設計画の中で、現在の静岡、清水両市役所を総合支所とし、中枢機能の移転に伴う空きスペースを活用し、NPO、コミュニティ活動団体等の活動拠点等の整備を推進する事が決定されている。

マイク・プロジェクター、CD・DVD等プレイヤーの利用

- 利用は、市役所と各課等が協働して実施する事業に限定している。

清水ふれあいホール平面図
 (清水庁舎議場跡)

1段目	162席
2段目	74席
合計	236席



フロアマップ



第1会議室 65人



第2会議室 16人

議場を企業のコールセンターへ(新潟県南魚沼市)

ファシリティマネジメント、民間利用、産業・雇用の創出

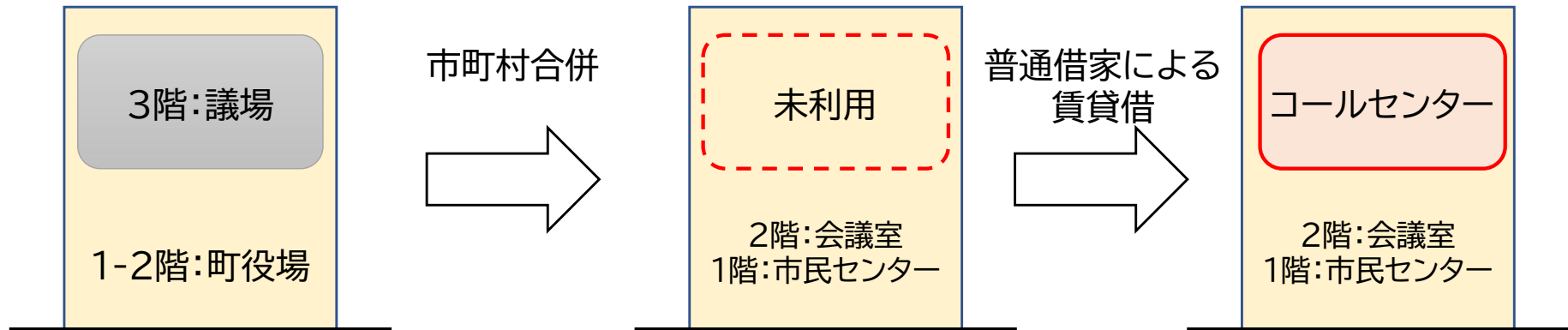


ヤマト運輸 コールセンター

- 南魚沼市は、H16年南魚沼郡の六日町と大和町が合併し発足。翌年同塩沢町を編入合併し現在に至る。
- 合併に伴い未利用となっていた旧塩沢町議会議場を平成19年に民間企業のコールセンターに。
- 企業からの打診に基づき、同市が市内の空き工場や市の空き施設を紹介した結果、議会議場の有効活用へと至った。

元々が貸し出すことを想定して建築した施設ではないので、企業と行政交互の情報や財産に対するセキュリティを確立することが難しかったが、継続して協議を重ねることで解決

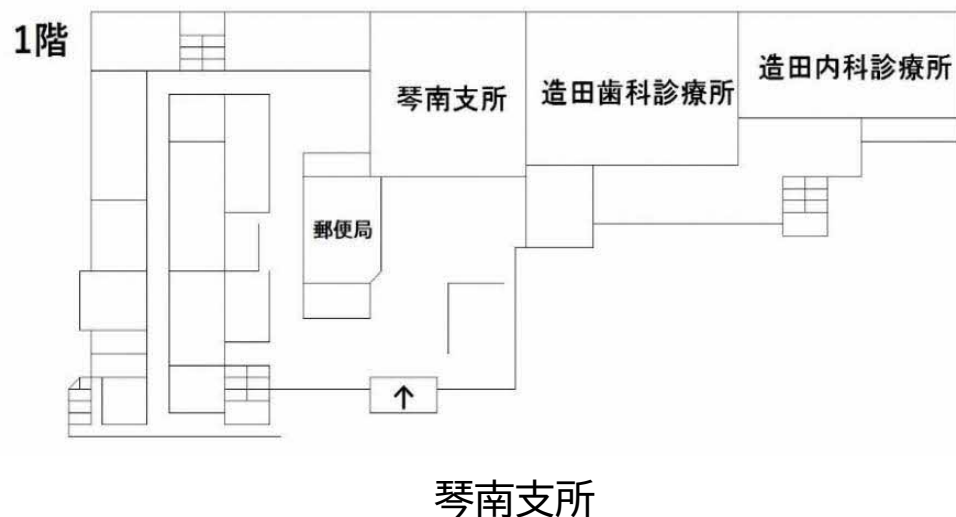
経緯と仕組み、効果について



- ❑ 平成19年4月の改正地方自治法の施行により、庁舎の一部貸付が長期的・安定的に行えるようになった。
- ❑ 塩沢地区への光ケーブルサービスが導入され、コールセンター業務のシステムに対応できる環境が整っていた。
- ❑ コールセンターという職種柄から、地元からの大きな雇用創出につながった。
- ❑ 大規模改修は行わず、そのままの建物の状態で活用できたことから、貸付にかかる費用負担を削減することができた。
- ❑ 賃料の半額補助を行うことにより、民間企業にとって魅力的な条件を提示することができた。

庁舎の一部を郵便局に有償貸与(香川県まんのう町)

ファシリティマネジメント、民間利用、コロナ、医療・介護、地方創生



診療所について

町立の内科診療所と歯科診療所を統合。

公設民営化し、訪問医療を中心に活動をしている。

「在宅医療・介護の連絡会」を通じて、廃校となる中学校の利用プロジェクト(ことなみ未来会議)の立ち上げに参加。

「守りのまちづくり」として医療に取り組む。

- まんのう町は、H18年琴南町、仲南町、満濃町が合併し発足。
- 合併により余裕スペースとなった旧庁舎一部をATMブースや事務スペースなどとして郵便局に有償貸与。
- 既存の郵便局より駐車場が広くなり、町民は一ヶ所で役場用務と郵便用務が行えるなど利便性が向上。
- 現在、同階に歯科と内科の診療所が開設。

「ことなみ未来館(旧琴南中学校)」と「ことなみ未来会議」について



令和3年にリニューアルオープンした、まんのう町
琴南地区のコミュニティセンター「ことなみ未来館」
(旧琴南中学校)

自然史博物館・木育広場・系のご教室・琴南お買い物ツアー・宅配弁当・アートギャラリー / 貸し教室・写真撮影・コワーキング・キッズスペース

- 廃校となる中学校の利活用プロジェクトとして「ことなみ未来会議」が発足。
- 参加者のプレゼンから各部会が発足。
- 高齢者部会では、配食見守りサービス事業「ことなみ未来食工房」がスタート。診療所への通院送迎サービスも実施。(有償ボランティアで運営)
- その他「文化活動部会」「スポーツ部会」「子育て支援部会」なども活動し、活動の拠点を「ことなみ未来館」に置いている。



旧庁舎を複合施設として活用(千葉県野田市)

社会教育、生涯学習、子育て支援、地域活性化



いちいのホール(旧関宿町役場庁舎)

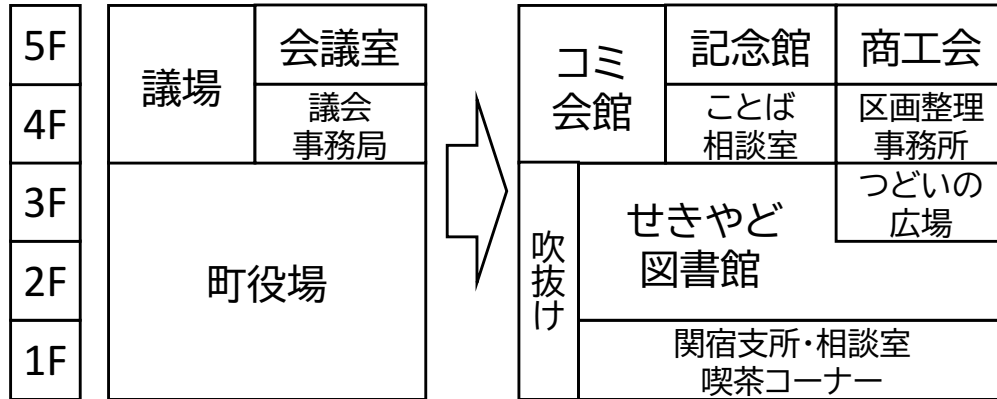
地域のコミュニティや文化活動の拠点として多くの住民に利用されている。

- 野田市は、H15年に、野田市と関宿町が合併し発足。
- 旧関宿町役場をリニューアルして平成16年に支所や図書館、舞台施設のあるコミュニティ会館、関根名人記念館などが入る複合施設(いちいのホール)としてオープン。
- 館内施設の休館日の調整、ホールと市内全域をつなぐコミュニティバスの運行などソフト面の取り組みも行うことで利用率を高めている。

いちいのホール概要

旧関宿町庁舎

いちいのホール



5階:野田市関宿商工会、関根名人記念館
 4階・5階:関宿コミュニティ会館
 4階: 関宿ことば相談室、次木親野井区画整理事務所
 3階:二川つどいの広場
 2階・3階:図書館機能
 1階:支所機能

関宿コミュニティ会館

小ホール、集会室(3室)、和室(1室)を貸出

ことば相談室

小学校に入学する前のお子さんへの相談受付、個別指導

二川つどいの広場

乳幼児(0歳から3歳)をもつ親とその子どもが気軽に集い、交流を
 図る場。子育て親子に対する育児相談も行っている。

関根名人記念館

将棋の十三世名人関根金次郎ゆかりの品である将棋の駒、将棋盤、
 遺品など将棋に関する文献や資料を展示。
 誰でも将棋に親しめるように対局室を用意。

二川つどいの広場 つうしん		♪ 広場利用案内 ♪ ☆ 0歳から3歳までの子育て中の親子 ☆ 祝日を除いた 毎週月曜日～金曜日 10:00～12:00 13:00～16:00 ☆ 利用料: 無料		
寒い数ある秋や冷たい風に、寒さが身に染みる季節となりました。暑を乗り越えながらも、元気に遊び回る子どもたちの姿に、この1年での成長を感じます。 もう12月、やっと12月～みなさまにとってどのような1年でしたでしょうか。あつという間に年明けの月となりました。今年最後まで元気にいっぱい過ごしたいと思います。		【問い合わせ先】 二川つどいの広場 ☎04-7120-6622 野田市東宝珠花237番地1 いちいのホール 3階 【委託先】 NPO法人 子育てネットワーク ゆっくつく ☎04-7129-8089		
月	火	水	木	金
			自由あそび ボールゲームは楽しいな～	自由あそび ブロックでなにを作ろうかな
1でい見 ばおばお節	自由あそび 電車であそぼう!	自由あそび バスルボックスは楽しい～	ふよっとうたっておどって 11:45～12:00	自由あそび くまのこたけあそび
みんなであそび場 子育て悩み相談 10:30～12:00	自由あそび どのニカーで遊ぶかな～	自由あそび 音楽に合わせて 手遊びしよう	きんぎょくドレミ 10:30～11:30 図書館中央公民館2F 大倉館	自由あそび お買い物ごっこしようかな



旧庁舎を子ども未来センターへ(東京都立川市)

子育て、教育、文化芸術活動、市民活動



立川市子ども未来センター

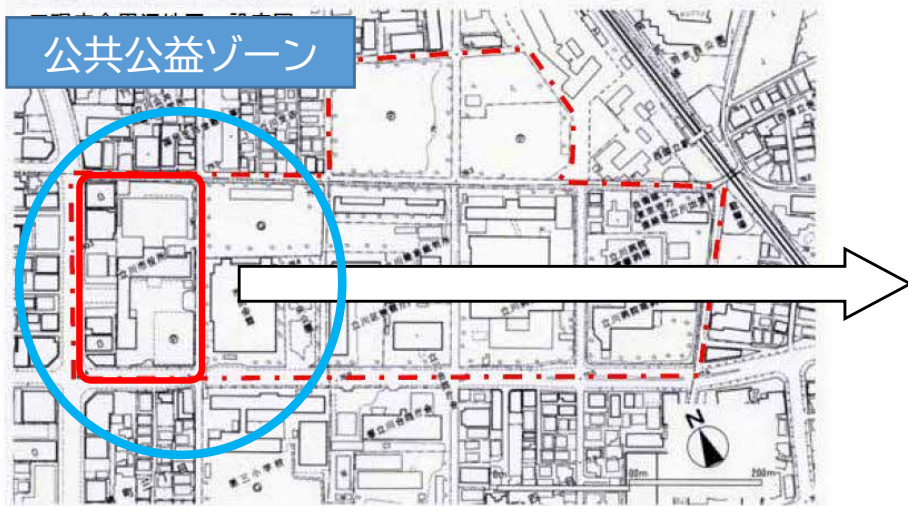
民間の独自提案により導入された「まんがぱーく」(蔵書数約3万冊、入館料制、館内閲覧のみ)は市民ニーズと合致し、広場空間等と融合した市民の新たな憩いの場となっている。

- ①子ども総合相談受付、②子育てひろば、③一時預かり(登録制・有料)、
④ファミリー・サポート・センター、⑤発達相談・就学相談・教育相談、
⑥錦連絡所(一部の行政機能を行っている。)、⑦立川まんがぱーく、スタジオ等

- 市庁舎の新築移転に伴い、旧庁舎施設等を改修し、「子育て支援施設」「まんがぱーく(漫画図書館)」「市民活動支援施設」が複合する賑わい拠点に再編。
- 子育て、教育、文化芸術活動、市民活動を支援するとともに、イベントの実施などを通じて地域のにぎわい創出を目的とする。
- 市は、市民を交えた検討を踏まえてランドデザインを策定し、当該事業を地域全体のまちづくりに繋げる第1ステージの段階として位置づけている。
- 事業化は、隣接する市民会館の改修と合わせてPPP(公民連携)手法を導入。

立川市子ども未来センターの概要

庁舎周辺地域の設定



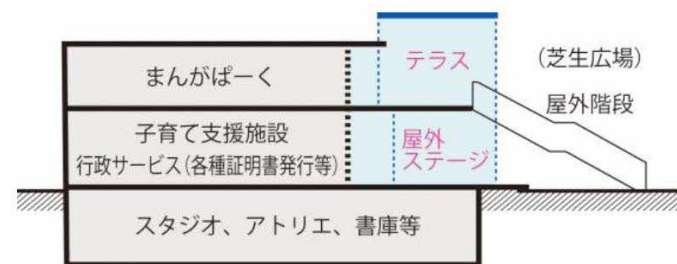
庁舎周辺地域の設定



庁舎周辺地域の設定



廃止施設のうち、老朽化が著しい旧第1 庁舎等(昭和33 年築)を解体して、芝生広場、駐車場を整備。耐震強度を満たす旧第2 庁舎(昭和45 年に増築)を子ども未来センターに改修。旧第2 庁舎と芝生広場の間にテラスを増築して、施設内外の空間を繋ぐ工夫が施されている。



H16年、市民100人委員会による提案が市長に提出される。第1庁舎部分を広場に、第2庁舎部分を交流(市民の居場所)+行政サービス施設とし、市民会館等周辺と一体整備する基本的な考え方が提唱され、これを受け継ぐ形で検討を重ね、市のランドデザインがまとめられている。

- 平成 16 年・新庁舎建設市民 100 人委員会「現庁舎敷地利用計画市民案」とりまとめ (3月)
 - 平成 17 年・新庁舎建設基本構想策定 (現庁舎の敷地利用計画の展開について言及) (3月)
 - 平成 19 年・立川駅南口周辺まちづくり協議会が「市民案」を受けた検討を実施 (3月)
 - 平成 21 年・現庁舎周辺地域ランドデザイン基礎調査実施 (3月)
 - 平成 22 年・立川市庁舎が新庁舎 (立川市泉町) へ移転、旧庁舎周辺地域ランドデザイン策定 (5月)
 - 平成 23 年・旧庁舎施設等活用事業 公募型プロポーザル実施 (1月) 受託者との基本協定締結 (9月)
 - 平成 24 年・旧庁舎施設改修工事開始 (6月) 竣工 (11月) 子ども未来センターオープン (12月)
 - 平成 25 年・市民会館改修工事開始 (1月) まんがぱーくオープン (3月)
 - 平成 26 年・市民会館リニューアルオープン (1月)
- 市民提案
市計画による位置づけ
事業者からの提案を導入

寄贈された百貨店を新庁舎へ(宮城県石巻市)

地域活性化、産業振興、雇用創出



商業施設を改修した新庁舎

- 平成17年、石巻市・河北町・雄勝町・河南町・桃生町・北上町・牡鹿町の1市6町の1市6町が合併して発足。
- 「旧さくら野百貨店石巻店」の建物が寄贈され、市議会および庁内で他候補地を含め検討し、新庁舎として利活用、本庁舎と4つの分庁舎を集約。
- 今後に与える財政的負担が最小限であること、石巻駅前が公共交通機関の結節点にあり、市役所庁舎としての利便性と「市民交流の場」としての利便性が良いことが理由。

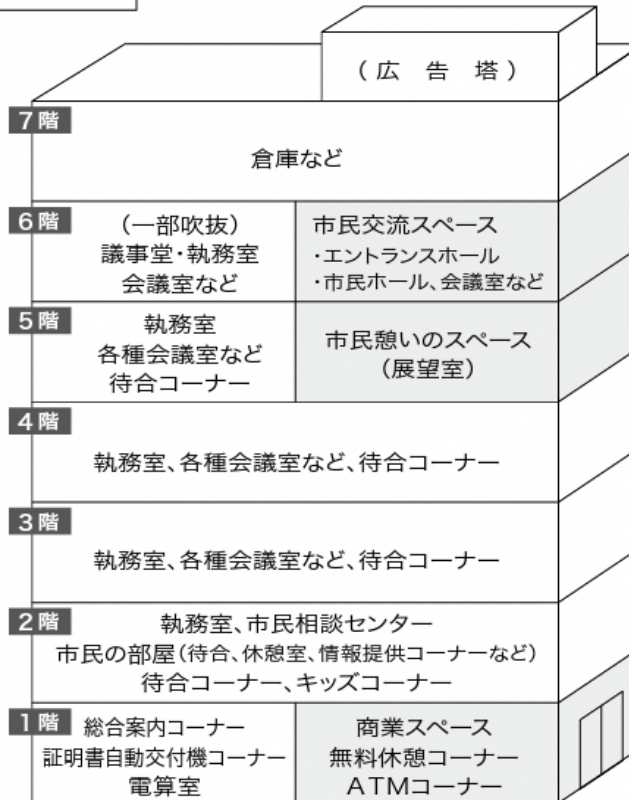
新庁舎フロア配置計画(素案)



展示会のイメージ



現在の市民課窓口の様子



は市民開放スペース



5階からの展望



買い物スペース「エスタ」

※具体的な課の配置は決定次第お知らせします。

※来庁者の方は、立体駐車場および市営駐車場(駅前)を利用いただけます。

- 無償譲渡により取得した庁舎建物の1階部分を商業スペースへと転用し、スーパーマーケットへ有償貸与。
- 他の部分は改装後に庁舎として利用予定であり、中心市街地活性化につなげた。
- 民間への有償貸与により、年額1,200万円の歳入増とともに、石巻駅周辺の活性化に寄与する。

旧庁舎の1階へ福祉機能を統合移転(高知県宿毛市)

地域活性化、福祉、子育て支援



宿毛市交流複合施設さくら(宿毛市旧庁舎)

- 南海トラフ地震を想定した庁舎の高台への新設移転に伴う、旧庁舎の機能再編。
- 余裕スペースが生まれた旧庁舎1階部分に支所機能及び、「すくもいきいきサロン」、「あったかふれあいセンター」を統合し併設し、「宿毛市交流複合施設さくら」としてリニューアル。
- 市民が活用できる「会議室」や「多目的スペース」といった機能も追加。多目的スペースは店舗活用も可能

宿毛市交流複合施設さくら配置図



- 桜町にある旧庁舎を「宿毛市交流複合施設さくら」としてリニューアル。
- 「中央支所」としての機能に加え、年齢や障害の有無にかかわらず誰もが気軽に集える「あったかふれあいセンターすくも」と、シニア世代を中心とした健康増進と憩いの場である「すくもいきいきサロン」を統合した「宿毛市いきいきふれあいセンター」を併設、その他「会議スペース」や「多目的スペース」などを設置。
- 「多目的スペース」については、事業者の方向けに店舗等として、街のにぎわい創出を目的とした長期間の貸出も行えます。

旧庁舎の再整備計画(新潟県魚沼市) ※計画中

地域活性化、福祉、子育て支援

外観



1階



2階



3階



旧堀之内庁舎

- 魚沼市は、平成16年に、「北魚沼郡堀之内町」「小出町」「湯之谷村」「広神村」「守門村」「入広瀬村」の6か町村による合併で発足。
- 統一庁舎の新築に伴う、旧庁舎等の利活用は、第2期公共施設再編整備計画(令和3年)及び既存庁舎再整備計画(令和元年)で検討を進める。
- 周辺地域の活性化及び周辺公共施設の効率的な利活用も含めて、地域住民の意見を聴くワークショップ形式の市民検討会を開催し、利活用方針を固めた。

旧庁舎利活用方針(2022年04月時点)

施設名		将来的な使用方針
旧堀之内庁舎	3階	・ケーブルテレビ設備 ・エフエム魚沼(株)に貸付け
	2階	・堀之内商工会と貸付協議中
	1階	・令和6年度に、物産館開設
旧小出庁舎		・令和4年度に、旧小出庁舎と小出公民館を解体 ・令和6年度に公民館、図書館機能等の機能を有する複合施設として、生涯学習センター(仮称)を建設 ※具体的な生涯学習センター(仮称)の機能については、市民ワークショップの中で検討
旧湯之谷庁舎 基幹集落センター		・令和5年度に解体し、駐車場を整備
旧広神庁舎	3階	・教育センター(旧堀之内庁舎から学習指導センター、適応支援班(フラワールーム)を移転)
	2階	・コワーキングスペース ・(一社)魚沼ものづくり振興協議会・魚沼市土地改良区、(一社)魚沼市シルバー人材センター、魚沼市職員組合に貸付け
	1階	・令和6年度に、文化財等展示・保管スペースを整備
旧入広瀬庁舎 (入広瀬会館)		・令和14年度までに解体予定(公共施設再編整備計画) ※ 周辺施設の利活用を含め、引き続き検討

- 対象庁舎は、堀之内庁舎・小出庁舎・湯之谷庁舎・広神庁舎・入広瀬庁舎
- 機能移転後の既存庁舎の再整備と新たな用途への転換をスムーズに行うことで、地域の活性化に資する
- 計画策定にあたり、周辺地域の活性化及び周辺公共施設の効率的な利活用について、各地域ごとにワークショップや説明会を実施。
- 市場性の有無、利活用案等について、民間事業者を対象にサウンディング(対話型市場調査)を実施

紹介自治体の統計情報



	自治体名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	合併 自治体数
	嬉野市	126.41	25,088	198	2
事例 1	山梨県北杜市	602.48	43,536	72	8
事例 2	静岡県静岡市	1,411.90	682,619	483	4
事例 3	新潟県南魚沼市	584.55	53,498	92	3
事例 4	香川県まんのう町	194.45	16,736	86	3
事例 5	千葉県野田市	103.55	152,146	1469	2
事例 6	東京都立川市	24.36	185,483	7614	—
事例 7	宮城県石巻市	554.58	135,974	245	7
事例 8	高知県宿毛市	286.2	18,286	64	—
事例 9	新潟県魚沼市	946.76	32,986	34.8	6